

耳の不自由な方のお話を聞いてメモを取ろう

<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	組	<input type="text"/>	番	名前	<input type="text"/>
----------------------	---	----------------------	---	----------------------	---	----	----------------------

◇ バリアフリーの学習のため、耳の不自由な方が学校にいらっしやいました。大切なお話を聞くため、石島さんはメモを取ることにしました。

耳の不自由な方のお話

わたしは耳が聞こえません。でも、みなさんと同じように生活しています。

他の人たちとの会話は手話が中心ですが、手話でなくても、身ぶり手ぶりで伝え合ったり、紙に書いて伝え合ったりすることで、たくさんの人たちとなかよくしています。

最近では便利べんりな物もふえてきました。

たとえば、げんかんのブザーが鳴ってもわたしには聞こえませんが、たとえば、ブザーが鳴ると、ぴかぴかっと光るライトが部屋へやに取りつけてあります。目ざまし時計の音が聞こえなくても、時間がくるとブルブルとふるえる小さな振動器しんどうきがまくらの中に入っています。

でも、こまることもあります。

町の中では、だれもわたしの耳が不自由だと気づきません。一番こわいのは、後ろから自転車が近づいてきた時です。自転車に乗っている人はベルを鳴らしますが、わたしには聞こえません。横を通りすぎる時に、はじめてわかります。何も知らずに向きを変えたり、立ち止まったりしていたら、ぶつかっていたかもしれない、と思うとひやっとします。

また、後ろからよびとめられた時もこまります。たとえば、「これ、落としましたよ。」と声をかけられてもわからないので、ふりむかずに行ってしまいます。

みなさんにおねがいしたいことは、ベルをならしても気づかない、声をかけてもふりむかない、そんな人を見かけたら（耳が聞こえないのかもしれない）と思って、手をさしのべてほしい、ということです。

一、メモをとる時に気をつけることをまとめました。() () にあ
てはまる言葉を、左の□の中から選えらんで書きましょう。

メモを取るときは、聞いたことをすべて書くのではなく、
() () ことだけを、できるだけ () () 言葉で書くよ
うにしましょう。

また、その時には○や・、↓などを使って、() () 書
きましょう。

- ・ 気に入った
- ・ 大切な
- ・ 短い
- ・ そのままの
- ・ はやく正かくに
- ・ ゆっくりていねいに

二、石島さんのメモは次のようになりました。

メモA	メモB
<p>○生活くぼくたちと同じ</p> <p>○会話 ・手話</p> <p>・身ぶり手ぶり</p> <p>・紙に書く</p> <p>○便利な道具^{べんり}</p> <p>・げんかんブザー↓ライト</p> <p>・目ざまし時計↓振動器</p>	<p>○こまること</p> <p>町の中では、だれも耳が不自由だと気づかないから、一番こわいのは、後ろから自転車が近づいてきた時。自転車に乗っている人はベルをならすけど聞こえない。横を通りすぎる時に、はじめてわかります。ひやっとする。また、後ろからよびとめられた時も…（きづかなくなる）</p>

(一)メモのとり方がよいのはメモAとメモBのどちらですか。また、その理由を書きましょう。

メモ のほうがよい。その理由は、

(二) メモBもメモAのように書きかえてみましょう。

○町でこまる時

・ 後ろから

・ 後ろから

(三) メモBには、書きわすれたところがあります。一つに○をつけましょう。

() () 子どもたちへのおねがい

() () 手話のやり方

() () 自転車の正しい乗り方

耳の不自由な方のお話を聞いてメモを取ろう (答え)

一、メモをとる時に気をつけることをまとめました。() () にあてはまる言葉を、左の□の中から選んで書きましょう。

メモを取るときは、聞いたことをすべて書くのではなく、(大切な) ことだけを、できるだけ (短い) 言葉で書くようにしましょう。

また、その時には○や・、↓などを使って、(はやく正かくに) 書きましょう。

- ・ 気に入った
- ・ 大切な
- ・ 短い みじか
- ・ そのままの
- ・ はやく正かくに
- ・ ゆっくりていねいに

二、石島さんのメモは次のようになりました。

(一)メモのとり方がよいのはメモAとメモBのどちらですか。また、その理由を書きましょう。

(例)メモAのほうがよい。その理由は、大切なことを短い文や言葉で書いているから。

(例)メモAのほうがよい。その理由は、○や・、↓などを使って、わかりやすく書いているから。

(二)メモBもメモAのように書きかえてみましょう。

○町でこまる時

- ・ 後ろから 自転車が近づいてきた とき
- ・ 後ろから よびとめられた とき

(三)メモBには、書きわすれたところがあります。一つに○をつけましょう。

(○) 子どもたちへのおねがい

() 手話のやり方

() 自転車の正しい乗り方^の